

小児科

1. 診療科としての特色

- 血液免疫腫瘍、循環器、神経、腎臓、膠原病、内分泌、新生児の専門グループがあり、それぞれのグループの一員として研修を行う。
- 各グループを1ヶ月単位でローテーションする。

2. 大学での研修内容

- 原発性免疫不全症に対する総合治療と造血幹細胞移植
- 小児悪性腫瘍や血液疾患に対する総合治療
- 重症先天性心疾患、致死性不整脈や重症川崎病の総合的診療と治療
- 難治性てんかんや神経学的異常をきたす小児神経疾患の診断と治療、神経学的発達評価
- 難治性ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎などの小児腎臓疾患全般の診断と治療
- 小児リウマチ性疾患の診断と治療
- 成長障害や副腎疾患等を中心とした内分泌疾患全般の診断と治療
- NICU・GCUでの早産、低出生体重児、病的新生児の総合的診断と治療
- CLS(child life specialist)や臨床心理士による患児の精神的ケア

3. 研修目標

病棟研修を通じて、小児の心理・社会的側面に対する配慮を学ぶとともに、新生児期から思春期までの各発達段階に応じた総合的な診療を経験する。

■短期ローテーションする場合（1-2ヶ月以下）

- 小児の基本的な診察方法および診断のための検査選択方法
- 小児の一般的手技（採血、点滴等）
- 小児の一般的薬剤の使用量や薬用量

■長期ローテーションする場合（3-4ヶ月以上）

- 小児の一般的手技（骨髄穿刺、腰椎穿刺等）
- 専門グループを複数ローテーションする事による、小児の基本的診療能力の向上、専門的診療、心臓カテーテル検査、腎生検の経験